

IRNAVI

アイアール
ナビ
vol.26

株主の皆様へ／代表執行役社長 越智 仁

●第11期中間決算のご報告

もっと知りたい！三菱ケミカルホールディングス
KAITEKIな仲間たち Vol.03

“KAITEKI実現”

チャレンジ!! KAITEKI

軽くて強い炭素繊維で環境問題にも貢献



証券コード 4188

株主の皆様へ

 株式会社三菱ケミカルホールディングス

第11期 中間期のご報告

2015年4月1日 ▶ 2015年9月30日

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当上半期（2015年4月1日から9月30日まで）における当社グループの事業環境は、機能商品分野及び素材分野においては、中国経済の減速等があったものの、総じて国内外の緩やかな景気回復が持続し、概ね良好な状況でありました。ヘルスケア分野においては、薬剤費削減策の影響等があるものの、ロイヤルティ収入の増加もあり好調に推移しました。当上半期の連結業績の詳細は次頁以下に記載の通りであります。

当期の中間配当金につきましては、今後の事業展開の原資である内部留保の充実を考慮しつつ、中期的な利益水準に基づいて安定的に配当を実施するという方針に従い、1株につき7円とさせていただきます。

当社グループは、2015年度が最終年度となる中期経営計画「APTSIS* 15」のもと、グローバル展開の強化や生産性の革新による競合他社との差異化を進めるとともに、事業会社や事業部の枠を超えたグループの経営資源の融合によって、顧客への新たなソリューションの提供や既存製品を用いた新規市場の拡大など、KAITEKI価値の最大化に努めてまいります。

当社は、「真にグローバルなTHE KAITEKI COMPANY」の実現に向け、2017年4月を目前に、傘下の事業会社である三菱化学、三菱樹脂及び三菱レイヨンの化学系3社を1社に統合する前提で検討を進めております。これは、わが国の化学産業を取り巻く経営環境が大きく変わる中で、当社グループが事業基盤を更に強化し、環境変化に柔軟に対応し発展していくために、3社のもつ人、技術、情報等の経営資源を最大限に活用して、事業の成長とグローバル展開を加速させることが必要であると考えたためです。

また、当社は、最優先課題である安全管理の徹底はもとより、コンプライアンスやリスク管理についても引き続き徹底を図ってまいります。

CONTENTS

■ 株主の皆様へ	1
■ 連結業績の概要	2
■ セグメント別業績	3
■ 各事業会社の活動・トピックス	5
■ もっと知りたい！三菱ケミカルホールディングス KAITEKIな仲間たち Vol.03	7

*「APTSIS」とは、Agility（俊敏に、とにかく速く）、Principle（原理原則・理念の共有）、Transparency（透明性・説明責任・コンプライアンス）、Sense of Survival（崖っぷちにあるという意識・危機感）、Internationalization（グローバル市場でのパフォーマンス向上）、Safety, Security & Sustainability（製造における安全、品質における安心、情報セキュリティ及び環境対応）のそれぞれの頭文字をとった造語で、当社グループの行動指針です。

す。さらに、当社は、本年6月、経営の透明性・公正性の向上を図るため指名委員会等設置会社に移行し、また今般、新たに制定した「三菱ケミカルホールディングス・コーポレートガバナンス基本方針」のもと、適切なコーポレートガバナンス体制の構築に努めてまいります。

当社グループは、これらの経営諸課題にグループの総力を挙げて対処し、企業価値・株主価値の一層の向上に努めてまいりますので、何卒倍旧のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。
2015年12月



代表執行役社長
越智 仁

連結業績の概要

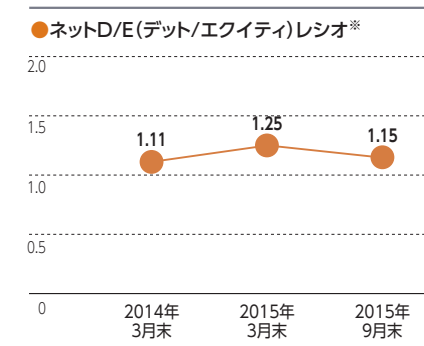
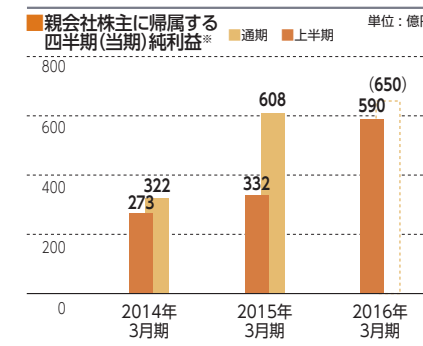
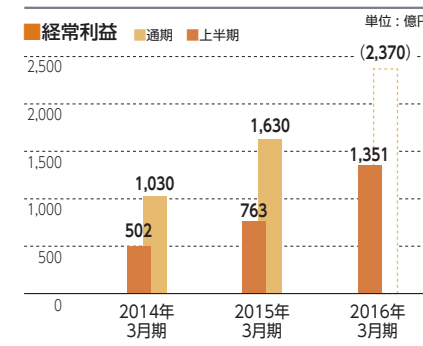
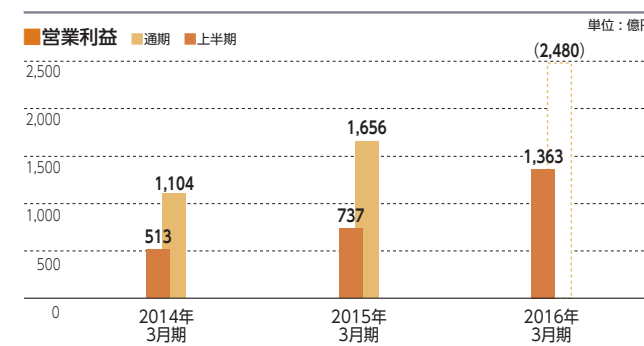
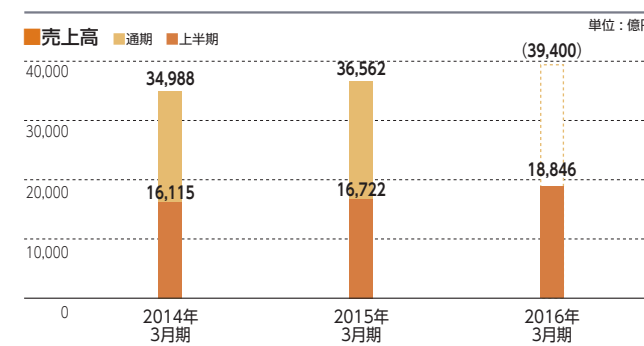
国内外の緩やかな景気回復が持続する中、全事業セグメントで増益となりました。

需要が回復基調で推移するなど、事業環境は概ね良好

当上半期は、国内外の需要が概ね回復基調で推移するなど、事業環境は概ね良好でありました。当上半期の連結業績は、売上高は1兆8,846億円（前年同期比2,123億円増）となり、利益面では、営業利益は1,363億円（同626億円増）、経常利益は1,351億円（同588億円増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は590億円（同258億円増）となりました。

ネットD/Eレシオが0.1ポイント改善

総資産は、営業債権の減少及び保有株式の時価下落に伴う投資有価証券の減少等により4兆2,467億円（前期末比762億円減）となり、また、負債は、主に短期金融債務を削減したことにより、2兆6,111億円（同1,232億円減）となりました。この結果、ネットD/Eレシオは1.15となりました。



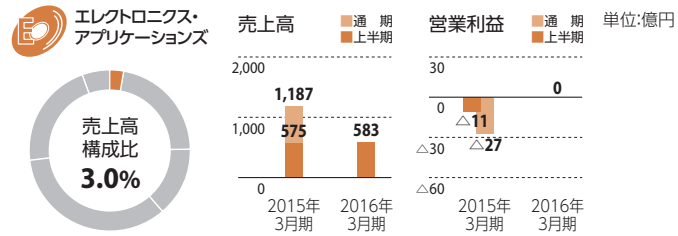
※ネットD/Eレシオとは、以下の数式によって算出される比率のことで、財務体質の健全性を表す指標の一つです。数値が小さいほど健全性が高いことを示します。

$$\text{ネットD/Eレシオ} = \frac{\text{有利子負債(割引手形を含む)} - (\text{現金・現金同等物} + \text{手元運用資金残高})}{\text{自己資本}}$$
 ※当上半期より「企業結合に関する会計基準」等の改正に伴い当期純利益の表示を変更しております。
 ※（ ）内の数値は、2015年11月5日の第2四半期決算発表時点での予想数値であります。

セグメント別業績

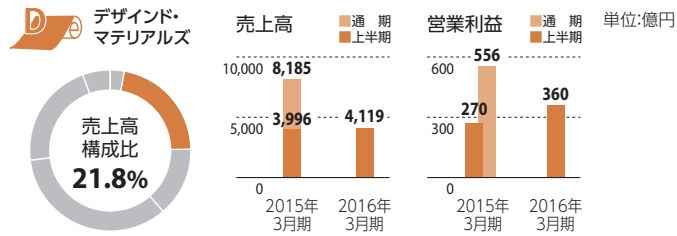
()内の数字は前期比

機能商品



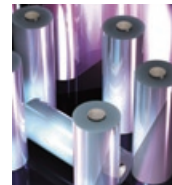
エレクトロニクス・アプリケーションズセグメント
《売上高》583億円(7億円増)
記録材料…光ディスク市場の縮小
電子関連製品…半導体向け精密洗浄等の事業が概ね堅調、ディスプレイ材料の販売数量が増加
情報機材…OPC及びトナーの販売数量が減少

《営業利益》0億円(12億円増)
固定費削減等による損益改善

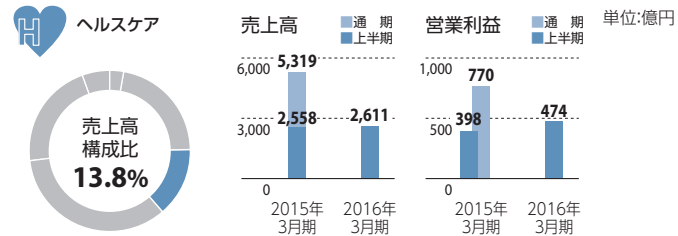


デザイン・マテリアルズセグメント
《売上高》4,119億円(123億円増)
樹脂加工品…エンジニアリングプラスチック関連製品及びアルミ樹脂複合板の販売数量が増加
複合材…炭素繊維の販売が堅調
電池材料…自動車用電池向けの販売数量が増加
精密化学品…コーティング材料等の需要が概ね堅調

《営業利益》360億円(89億円増)
販売数量の増加等による増益

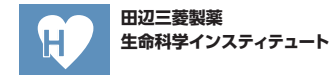


ヘルスケア

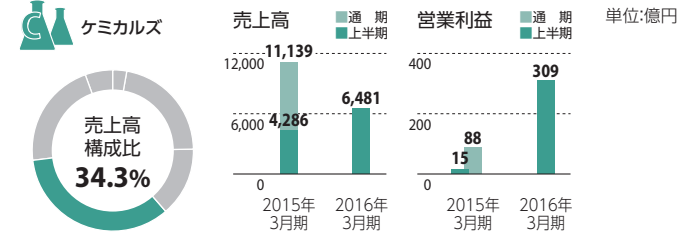


ヘルスケアセグメント《売上高》2,611億円(53億円増)
医薬品…一部製品のロイヤルティ収入が増加
診断製品及び臨床検査…診断検査・創薬支援事業の販売が増加
製剤材料…製剤機械の販売が減少

《営業利益》474億円(76億円増)
ロイヤルティ収入の増加及びコスト削減等による増益

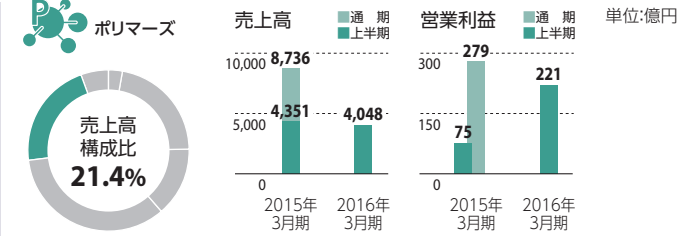


素材



ケミカルズセグメント
《売上高》6,481億円(2,195億円増)
基礎石化製品…原料価格の下落に伴い販売価格が低下
合成繊維原料…需給バランスが軟調に推移し、市況が低迷
炭素製品…原料炭価格の下落に伴いコークスの販売価格が低下
産業ガス…前期第3四半期から売上を計上

《営業利益》309億円(293億円増)
太陽日酸の連結子会社化等による増益

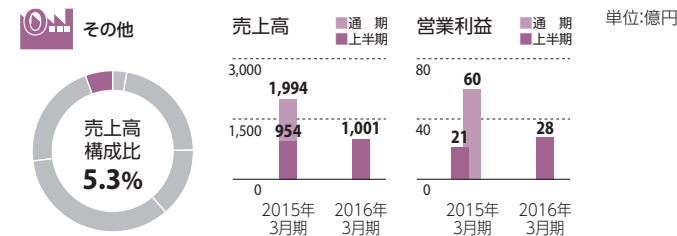


ポリマーズセグメント
《売上高》4,048億円(303億円減)
合成樹脂…原料価格の下落に伴い販売価格が低下

《営業利益》221億円(146億円増)
原料と製品の価格差の改善による増益



その他



その他《売上高》1,001億円(46億円増)
エンジニアリング事業…外部受注が増加
物流事業…堅調に推移

《営業利益》28億円(6億円増)
エンジニアリング事業の増収等による増益



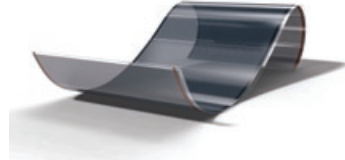
※2016年3月期より、「ケミカルズ」の一部事業を「デザイン・マテリアルズ」及び「ポリマーズ」へ、また、「その他」の一部事業を「デザイン・マテリアルズ」へそれぞれ所属するセグメントを変更しております。これに伴い、比較情報としての2015年3月期実績を組み替えております。

各事業会社の活動・トピックス

三菱化学

機能商品

- 三菱化学メディア(株)が、3Dプリンタ用フィラメントの新製品「プリマロイフィラメント」を発売(4月)
- 有機薄膜太陽電池を用いた「シースルー発電フィルム」を開発し、市場開拓を開始(8月)



有機薄膜太陽電池「シースルー発電フィルム」

素材

- 機能性樹脂事業の販売拠点を新たにトルコに設立(4月)
- スズキ(株)と共同で植物由来プラスチック「DURABIO」の新規グレードを開発し、同社の新型車「アルト ラパン」の内装樹脂カラーパネルに採用(6月)

田辺三菱製薬

ヘルスケア

- 「ラジカット注30mg」及び「ラジカット点滴静注バッグ30mg」(一般名:エダラボン)について、筋萎縮性側索硬化症(ALS)における機能障害の進行抑制の効能・効果の追加に係る承認を取得(6月)

- 「フルコート f」の姉妹品として、「メディスキンコート f」を販売開始(9月)



引き続き広告には、黒木瞳さんを起用

- バイオジェン社(米国)と自己免疫疾患治療剤「MT-1303」に関するライセンス契約を締結(9月)
- 脂質異常症治療剤(CETP阻害剤)「TA-8995」の日本及びアジアの一部を除く全世界における特許・ノウハウのアムジェン社(米国)への譲渡を発表(9月)
- アストラゼネカ社(英国)と、がん治療における抗体薬物複合体の共同研究及びライセンス契約を締結したことを発表(9月)

三菱樹脂

機能商品

- インドネシアにおいて、透湿性フィルム「KTF」の製造ラインを竣工(5月)
- 中国において設立した三菱樹脂光学フィルム(無錫)社が光学用ポリエステルフィルム加工製品の製造・販売を開始(7月)

- (株)グリーンイノベーションとの共同開発により、医薬品原材料として使用可能な甘草の国内量産技術を確認(7月)
- KAITEKI・フレッシュ・オーストラリア社が、オーストラリアにおいて太陽光利用型植物工場を竣工し、植物工場産野菜の販売を開始(7月)
- ハイバリアPETボトルが麒麟ビール(株)の会員制宅配サービス向けビール容器に採用(8月)



国内量産技術を確認した甘草の試験圃場

三菱レイヨン

機能商品

- 三菱化学(株)の子会社である(株)新菱と共同で、炭素繊維リサイクルの事業化を推進することを決定(4月)
- 同志社大学と炭素繊維複合材料に関する包括的研究協力協定を締結(4月)
- 子会社のMRCパイレン(株)と共同で、軽量性・保温性を向上させる機能素材である三芯中空断面繊維「ライブエア」を開発し、販売を開始(7月)
- 繊維事業の競争力を強化するため、子会社のMRCパイレン(株)及び三菱レイヨン・テキスタイル(株)を来年4月に吸収合併することを発表(8月)
- 三菱レイヨン・クリンスイ(株)が、(株)セブン&アイ・ホールディングスと共同で、コンパクトタイプのポット型浄水器「SP1-WT」を開発し、販売を開始(9月)



コンパクトタイプのポット型浄水器「SP1-WT」

生命科学インスティテュート

ヘルスケア

- 健康ライフコンパス(株)が提供する自己採血検査サービス「じぶんからだクラブ」が、これまでの店頭でのサービスに加え、自宅で採血するサービスを開始し、同サービスの実施店舗数が2,000店を達成(6月)
- Muse細胞を用いた再生医療製品の研究開発を進める(株)Clioの全株式を取得し、連結子会社化(6月)

太陽日酸

素材

- 子会社のTNSC(タイ)社と共同で、エア・プロダクツ・インダストリー社(タイ)を買収(6月)
- レーザ加工機のアシストガス専用設計した窒素ガス供給システムの新型モデルの販売を開始(7月)
- 子会社のマチソン・トライガス社(米国)が、カリフォルニア州南部で空気分離装置の新設を決定(7月)
- TNSC(オーストラリア)社を新たに設立し、同社を通じて、レネゲードガス社(オーストラリア)を買収(7月)
- 病院設備機器事業の基盤強化と収益向上を目的として、子会社のティエヌメディカルエンジ(株)が(株)シーヴェストを合併(10月)

KAITEKIな仲間たち Vol.03


持株会社である当社とともに当社グループの事業の中核を担う、及び大陽日酸の6つの事業会社を順番にご紹介いたします。

三菱樹脂

会社名 三菱樹脂株式会社
 本社所在地 東京都千代田区丸の内一丁目1番1号(パレスビル)
 発足 2008年(設立:1943年)
 資本金 215億円
 取締役社長 姥貝 卓美

多彩な高機能商品で暮らしを快適に

三菱樹脂は、「恒により高い価値を創造し、より豊かな社会づくりに貢献する」ことを企業理念として、生活を支える機能材料から先進性のある高機能商品を提供し、暮らしの中で「あったらいいのに」と思う“あんなもの”や“こんなもの”をカタチにしていきます。




**高品質で扱いやすい
液晶テレビ向けフィルム**

液晶テレビの光学用シートのベースとして用いられるポリエステルフィルム「ダイアホイル」は、透明性などに特長があり、高い品質を誇ります。また、特殊な表面処理を施すことで、お客様の製品設計の自由度が広がります。




野菜の安定供給を支援

人工光を利用して天候に左右されず育苗する「苗テラス」と、農業用ハウス内で土を使わずに、培養液で野菜を生産する「ナッパランド」を組み合わせた栽培システムを用いることで、安心・安全な野菜の計画生産を実現。新しい農業を海外にも展開しています。




プラスチックが金属の代替素材に

「MCナイロン」に代表されるエンジニアリングプラスチックは、機械的強度や耐熱性などに優れた切削加工用素材で、歯車や車輪、ギヤなどの金属代替部品として産業機械部品や自動車部品をはじめ幅広い分野で使用されています。



自動車の排ガススクリーンに貢献

自動車の排ガス処理装置内の触媒を保護するアルミナ繊維「マフテック」。超高温下でも安定した機能を発揮し、クッション性にも優れています。排気ガスのクリーン化に貢献しています。



軽量で割れにくいPETボトル

酒類や調味料などのボトルに使用されているハイバリアPETボトル。ボトルの内面に特殊な炭素膜をコーティングしたPETボトルで、ガラスびんに代わる軽くて割れにくい新たな容器として広く採用されています。

三菱化学、田辺三菱製薬、三菱樹脂、三菱レイヨン、生命科学インスティテュート
 第3回目は、三菱樹脂です。

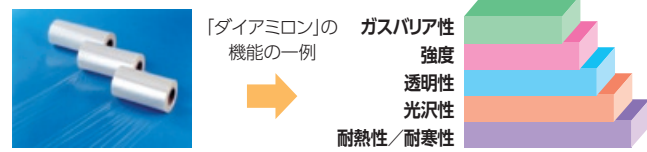
三菱樹脂のPRキャラクター「プラスくん」
 お客様や社会にプラスαの価値をご提供するという、
 三菱樹脂グループの企業姿勢を表したPRキャラクター



**食品の鮮度を守る
共押出多層フィルム「ダイアミロン」**

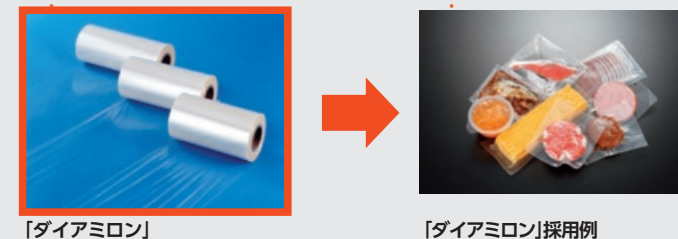
ハムやソーセージなど食品を包む包装材「ダイアミロン」。複数の樹脂原料を一度に押し出して積層することにより、お客様のニーズに合わせた機能をカスタマイズすることができる多機能な多層フィルムです。透明性・光沢性に優れているので中身がよく見通せ、またガスバリア性・強度により鮮度を保つことができます。

たくさんの機能がこのフィルムの中に



抜群の透明度で中身も美味しさも見通せます

- 1 三菱樹脂は、たくさんの機能をもつ多層フィルム「ダイアミロン」を作っています。
- 2 「ダイアミロン」が加工され、ハム等のパッケージになります。



KAITEKIへの挑戦

人工関節で快適な暮らしを

三菱樹脂グループのクオドラント社(スイス)が開発したライフサイエンス向けエンジニアリングプラスチック「MediTECH」は、人工関節をはじめ、手術用トレイや医療現場の設備にも使用される医療用特殊材料です。人工関節は、劣化により交換が必要になる場合もありますが、「MediTECH」は酸化や劣化の抑制により、長期にわたり寸法安定性を維持できるので、人工関節の耐用年数が延びることで、患者さんの負担を軽減し、快適な暮らしの実現を支えています。



“KAITEKI実現”

KAITEKIとは、時を越え、世代を超え、人と社会と地球の心地よい状態が持続することです。そのKAITEKI実現に向けた当社グループの取り組みをご紹介します。

田辺三菱製薬史料館でKAITEKIを発信

当社グループの田辺三菱製薬は、1678年の創業以来330年以上にわたり、医薬品の創製を通じて世界の人々の健康に貢献してきました。

このたび、2009年まで本社を置いていた大阪・道修町に2015年2月に新本社ビルを完成。新本社2階に「田辺三菱製薬史料館」を開館しました。

田辺三菱製薬は、1678年、四代將軍徳川家綱

の時代に、初代田邊屋五兵衛が合業「田邊屋振出薬」の製造販売を家業として大阪・土佐堀の地に独立開業したのが始まりです。1791年、六代田邊屋五兵衛が医薬品産業発祥の地ともいえる道修町に進出し、現在の礎を築いてきました。



1688年、初代田邊屋五兵衛の「田邊屋振出薬(たなべや薬)」が評価され、朝廷から「黒川大和太掾藤原金永」の称号を授かる。

史料館では、「くすりの道修町ゾーン」「あゆみゾーン」「いまと未来ゾーン」の3つのゾーンで、創業から300有余年の間に蓄積された数々の歴史資料や、「くすりの町・道修町」の歴史と文化、そして田辺三菱製薬の次代を拓く未来の姿を紹介しています。

田辺三菱製薬の歴史を巡る「あゆみゾーン」



次代を拓く「いまと未来ゾーン」

田辺三菱製薬は、多くの皆様がこの史料館をご覧いただくことを通して、地域と共生し、医薬品業界の発展に貢献してまいります。

また、「医薬品の創製を通じて、世界の人々の健康に貢献します」という企業理念に基づき、これからもアンメット・メディカル・ニーズ※に応える新薬を作り続け、KAITEKIの実現をめざしてまいります。

※アンメット・メディカル・ニーズ：有効な治療法、医薬品がなく、未だに満たされない医療上のニーズ。

【史料館情報】

住所：大阪市中央区道修町3-2-10
開館時間：10:00～17:00 月～金(会社の営業日)
TEL：06-6205-5100
ホームページ：http://www.mtpc-shiryokan.jp
入館料：無料

*ご来館の際は上記ホームページにアクセスいただき、「来館予約」にてご予約の上ご来館ください。



チャレンジ!! KAITEKI 09

軽くて強い炭素繊維で環境問題にも貢献

鉄より強く、アルミより軽い炭素繊維

航空機や自動車の軽量化・低燃費化の有力な素材として、世界的に需要が高まっている炭素繊維。

炭素繊維には、アクリル繊維を原料としたPAN系炭素繊維と、石油ピッチや石炭タールなどの副生成物(ピッチ)を原料とするピッチ系炭素繊維があり、主に樹脂と組み合わせた複合材料として利用されています。炭素繊維は、ともに鉄に比べて重量は1/4、強度は約10倍であり、高い電気伝導率、優れた耐食性などさまざまな特徴があります。

CO₂削減や省エネルギーに貢献

炭素繊維は、CO₂削減や省エネルギーに貢献する素材として、航空機や自動車だけでなく、クリーンエネルギーとして注目される水素のタンク用の圧力容器や風力発電などの新エネルギー・環境分野への開発も進んでいます。自動車分野では、自動車の車体構造材に炭素繊維複合材料を使用することで、車体を軽量化して燃費を向上させ、CO₂削減を実現しています。また、風力発電の分野では、風車の大型化に伴い、従来から用いられているガラス繊維より軽くて強い炭素繊維が活用されています。

三菱レイヨンには、PAN系炭素繊維と、ピッチ系炭素繊維の両方の製造技術を持つ世界で唯一のメーカーであり、炭素繊維とそれを基材とした中間材料や成形加工品に至る一貫したプロダクトチェーンを活かし、航空機、自動車、産業資材、スポーツ用品、環境分野などさまざまな分野へ展開しています。



炭素繊維を使用したコンセプトカー

炭素繊維の ここが KAITEKI

軽くて強い

ゴルフシャフト、テニスラケット、釣竿など皆様の身近なものに使われており、より快適で充実した暮らしを提供しています。



世界有数のゴルフクラブメーカーへゴルフシャフトを供給

優れた耐食性

軽くて強いだけでなく耐食性にも優れているため、建造物の耐震補強や補修にも活用されています。

環境にやさしい

航空機や自動車の軽量化により燃費が向上することで、CO₂の削減につながります。

財務諸表の概要

連結貸借対照表

(単位:億円)

科目	当上半期 [2015年9月30日現在]	前期 [2015年3月31日現在]
(資産の部)		
流動資産	18,205	18,572
現金・預金	2,448	2,361
受取手形・売掛金	7,315	7,598
たな卸資産	6,027	5,955
その他	2,459	2,704
貸倒引当金	△ 46	△ 46
固定資産	24,262	24,657
有形固定資産	14,890	14,981
投資有価証券	3,213	3,557
のれん	2,558	2,437
その他	3,599	3,681
資産合計 Point 1	42,467	43,230

Point 1

資産合計

資産合計は、主に保有株式の時価下落等に伴う投資有価証券の減少及び受取手形・売掛金の回収により減少しています。

(単位:億円)

科目	当上半期 [2015年9月30日現在]	前期 [2015年3月31日現在]
(負債の部)		
流動負債	14,387	15,659
支払手形・買掛金	4,490	4,593
短期金融債務	6,731	7,436
その他	3,165	3,629
固定負債	11,724	11,684
長期金融債務	8,647	8,599
その他	3,077	3,085
負債合計 Point 2	26,111	27,344
(純資産の部)		
株主資本	9,240	8,746
資本金	500	500
資本剰余金	3,178	3,177
利益剰余金	5,724	5,231
自己株式	△ 162	△ 162
その他の包括利益累計額	915	1,063
新株予約権	5	4
非支配株主持分	6,195	6,071
純資産合計	16,355	15,886
負債及び純資産合計	42,467	43,230

Point 2

負債合計

負債合計は、主に短期金融債務を削減したことにより減少しています。

連結損益計算書

(単位:億円)

科目	当上半期 [自2015年4月 1日 至2015年9月30日]	前上半期 [自2014年4月 1日 至2014年9月30日]
売上高	18,846	16,722
売上原価	13,874	13,128
販売費・一般管理費	3,608	2,857
営業利益	1,363	737
営業外収益	162	163
営業外費用	174	136
経常利益	1,351	763
特別利益 Point 3	59	166
特別損失	67	93
税金等調整前四半期純利益	1,344	836
法人税、住民税及び事業税	380	271
法人税等調整額	79	37
非支配株主に帰属する四半期純利益	293	195
親会社株主に帰属する四半期純利益	590	332

Point 3

特別利益

特別利益は、主に固定資産売却益の減少により減少しています。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

科目	当上半期 [自2015年4月 1日 至2015年9月30日]	前上半期 [自2014年4月 1日 至2014年9月30日]
税金等調整前四半期純利益	1,344	836
減価償却費	871	640
たな卸資産	△ 81	△ 24
営業債権債務他	△ 455	△ 245
営業活動によるキャッシュ・フロー Point 4	1,679	1,207
有形・無形固定資産取得	△ 790	△ 647
有価証券・投資有価証券取得	△ 566	△ 345
その他	1,415	263
投資活動によるキャッシュ・フロー	59	△ 728
有利子負債	△ 725	92
配当金他	△ 236	△ 169
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 961	△ 77
現金・現金同等物に係る換算差額	2	29
現金・現金同等物の増減額	778	431
現金・現金同等物の期首残高	2,430	1,795
連結の範囲の変更に伴う現金・現金同等物の増減	2	—
現金・現金同等物の四半期末残高	3,211	2,227

Point 4

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前四半期純利益の増加により、収入が増加しています。

株式の状況

株式の状況

(2015年9月30日現在)

発行可能株式総数	6,000,000,000株
発行済株式総数	1,506,288,107株
株主総数	174,571名

大株主

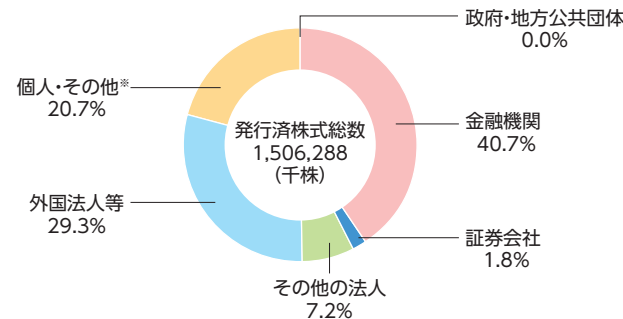
(2015年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	84,689	5.7
明治安田生命保険相互会社	64,388	4.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	56,876	3.8
日本生命保険相互会社	42,509	2.9
株式会社三菱東京UFJ銀行	41,105	2.8
東京海上日動火災保険株式会社	25,638	1.7
ザバンク オブ ニューヨーク メロン エスエーエヌブイ 10	21,497	1.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	21,011	1.4
ステートストリートバンクウェストクライアソトリーティー 505234	20,683	1.4
太陽生命保険株式会社	18,838	1.2

※上記のほか、当社が自己株式として41,473千株を保有しておりますが、上記出資比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布の状況

(2015年9月30日現在)

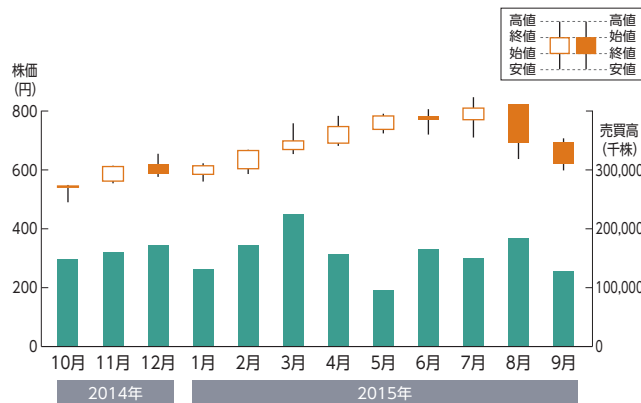


※「個人・その他」には、当社の自己株式としての保有分(2.7%)が含まれております。

配当の状況

1株当たり配当金(円)			
	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期
中間	6	6	7
期末	6	7	(7)
合計	12	13	(14)

株価・株式売買高の推移(東京証券取引所)



当社IRサイトをご活用下さい。

<http://www.mitsubishichem-hd.co.jp/>



当社ホームページでは、プレスリリースや経営計画、決算情報等を掲載しておりますので、ぜひご活用下さい。

三菱ケミカル

会社概要

会社概要

商号 株式会社三菱ケミカルホールディングス
(英文社名:Mitsubishi Chemical Holdings Corporation)

本店所在地 〒100-8251
東京都千代田区丸の内一丁目1番1号
(パレスビル)
電話 03-6748-7200

資本金 500億円

取締役

(2015年9月30日現在)

小林 喜光	取締役会長	中田 章	取締役
石塚 博昭	取締役副会長	梅葉 芳弘	取締役
姥貝 卓美	取締役副会長	橘川 武郎	社外取締役
越智 仁	取締役	伊藤 大義	社外取締役
三津家正之	取締役	渡邊 一弘	社外取締役
市原裕史郎	取締役	國井 秀子	社外取締役
ルン・フリクソ	取締役		

※当社は社外取締役である橘川武郎、伊藤大義、渡邊一弘及び國井秀子の4氏を、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、届け出ております。

※各委員会の構成は次の通りです。
指名委員会:橘川武郎(委員長)、小林喜光、越智 仁、渡邊一弘、國井秀子
監査委員会:中田 章(委員長)、梅葉芳弘、伊藤大義、渡邊一弘、國井秀子
報酬委員会:伊藤大義(委員長)、石塚博昭、姥貝卓美、橘川武郎、渡邊一弘

執行役

(2015年9月30日現在)

越智 仁	代表執行役 執行役社長
大平 教義	代表執行役 執行役専務 広報・IR室(広報)、総務室、 人事室、内部統制推進室 コンプライアンス推進統括執行役
小酒井健吉	代表執行役 執行役専務 経営管理室、広報・IR室(IR)、 情報システム室 最高財務責任者
唐津 正典	執行役専務 グループ基盤強化室(製造・ レスポンスブルケア、購買、 物流、エンジニアリング)
田中 良治	執行役常務 経営戦略室長(総合・ケミカル)、 経営戦略室(ヘルスケア)、 グループ基盤強化室(エリア 戦略、マーケティング、自動車 関連事業推進)
ルン・フリクソ	執行役常務 R&D戦略室
浦田 尚男	執行役常務 R&D戦略室長
スティーブ・ユリック	執行役常務 グループ基盤強化室(エリア 戦略、マーケティング、自動車 関連事業推進)

※越智 仁及びルン・フレデリクソンの両氏は、取締役を兼務しております。

株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 株主確定基準日
 - (1) 定時株主総会 3月31日
 - (2) 期末配当金 3月31日
 - (3) 中間配当金 9月30日
 その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。
- 公告の方法

電子公告の方法により行います。但し、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

◎ 公告掲載URL
 (<http://www.mitsubishichem-hd.co.jp/ir/index.html>)
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 (〒100-8212)
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 証券代行部
- 郵便物送付先及び電話お問合せ先

東京都江東区東砂七丁目10番11号
 (〒137-8081)
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 証券代行部
 0120-232-711 (通話料無料)

IR NAVI アイアール ナビとは、本冊子を株主の皆様とのコミュニケーションツールとして、当社グループに関する情報(IR情報)をよりわかりやすく株主の皆様へナビゲート(道案内)していきたいという意味を込めております。



単元未満株式(1株~99株)をお持ちの株主様へ

単元未満株式(1株~99株)とは

当社の最低売買単位である1単元(100株)に満たない株式のことをいいます。単元未満株式(1株~99株)については、証券市場で売買することはできません。

単元株式



株主総会で議決権を行使できます。証券市場で売買できます。

単元未満株式



株主総会で議決権を行使できません。証券市場で売買できません。

単元未満株式をお持ちの株主様は、市場価格で、単元株式(100株)にするために必要な株数を当社からご購入(買増制度)または単元未満株式を当社に対しご売却(買取制度)いただくことができます。

(例)40株をお持ちの株主様の場合

買増制度	買取制度
60株を、当社から市場価格でご購入いただけます。	当社が、40株を市場価格で買い取らせていただきます。

ご利用方法

証券会社の口座をお持ちの株式については、お取引先の証券会社でお手続き下さい。また、特別口座をお持ちの株式については、当社の特別口座の口座管理機関までお問い合わせ下さい。

特別口座の口座管理機関及び連絡先

口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
0120-232-711 (通話料無料)

※特別口座に株式をお持ちの株主様が、株式を売買される場合は、あらかじめ特別口座から証券会社の口座への振り替えが必要となりますので、お早めにお手続き下さい。